



# 大垣市社会福祉法人連携協議会通信

Vo.3 (令和3年11月25日発行)

## 市内の地域福祉活動のご紹介

大垣市内では、住民が福祉のまちづくりを主体的に進めるために小学校区を基本とした「地区社会福祉推進協議会」を市内20か所に組織化しています。住民の「おもいやりの心」「ふれあいの心」を育てる活動の推進をしています。各地区では、「地区社協活動計画」を策定し、その地域にあった福祉課題を設定し、解決にむけて事業を実施しています。(↓↓各地区の活動計画パンフレット↓↓)



活動の中には、地域にある福祉施設や学校・園と協働した事業を進めることでより地域に根差した活動を展開しています。



オンラインで施設とボランティアの交流



園児と施設利用者の交流



町内行事や  
公共施設での  
作品展示

法人の皆さまも、そんな地域の活動を「一緒に考えていきたい」「協力したい」などご意見がありましたら、大垣市社会福祉協議会までご相談ください。

## フードサポートボックス

だれひとり取り残さないを

やってみた

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



400品をこえる食料を提供いただき、相談援助で活用しています。ご協力ありがとうございます。

## 知りたい！教えて！！

社会福祉法人の地域における公益的な取り組みの活動例や法人連携の事業の中での取り組み事例など、法人の皆さまが関心のある活動について教えていただきたく思います。

事務局では、そういった活動を調べ、この通信を通じて皆さまに発信できればと思います。ご意見お待ちしております。



WEB回答ページ

# 大垣市社会福祉法人連携協議会 加盟法人紹介ページ

## 三縁の会（サットヴァの園）



**志気込み！！**

## うちのいいところ！

新型コロナウイルスが蔓延し外部ボランティアによる催しができないなか、職員が独自で工夫の凝らした企画をし、施設内でできるいろいろな催しを開催して入所者を楽しませている。

・職員の実務の軽減に向け、介護ロボット（見守りセンサー設置済）に加え令和3年度、ICTや新介護ロボットの導入し効率化を図り、働きやすい職場を目指している。

感染対策マニュアルの作成と周知、外部研修会の参加と全職員への周知をすることでウイルスの持ち込み防止を行い、利用者、ご家族、職員の安全安心につなげている。

・新型コロナウイルス感染予防のため、ガラス越しでインターフォンを用いて面談を実施している。

・通所では、外部より感染の持ち込みを避けるため、送迎時のチェックや施設内での三密回避や飛沫感染防止のための、ロケーションの変更、パーティションの設置をおこない、通所利用者のご利用継続につなげている。



## 浄華福祉会（宝林・木の花保育園）



園庭にて運動会（鼓隊演奏）

## うちのいいところ！

私たちは、お互いの良さやその人らしさを認め合うことを相手が子どもであっても大人であっても同じように大切にしています。職員みんなが個性や得意なことを発揮し、苦手なことは助けてもらいながら、保育の仕事に魅力ややりがいを感じながら働いています。



木の温もりを感じる園舎内

**志気込み！！**

コロナ禍のいまだからこそ、「子どもにとって何が大切か」を立ち止まって考える機会となりました。今できる子どもにとっての最善を考え、選択し、保育を進めてまいります。



## 清心会（清心苑）



## うちのいいところ！

利用者様の呼吸や心拍数等の監視をし、異常値になれば警告を発する機器を導入し、異常の早期発見をするとともに、重度防止化にも役立てています。

・ケア記録等リアルタイムでの記録をタブレット端末で行い、緊急搬送や病院往診時等、カルテのコピーを用意することなくケア記録を確認することが可能であり、医師からの質問にも対応が可能なシステムを導入（施設外での使用可）しています。などシステムを統合し、二度手間を防ぎ事務などの効率化をはかっております。

**志気込み！！**

利用者様の心のケアのためにも！  
感染対策を行ったうえで、面会を可能にしております。  
家族に面会することで元気になる利用者様が増えております。職員の感染対策を徹底！・職員は毎日の出勤時に検温また、県外への外出については事前申請書を提出し上長の承認を得て外出するなど『職員から感染者はださない』をスローガンに頑張っております。



コロナ禍でもレクリエーション

